



収録台本

2021年12月後半号



TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さて、12月も後半ですよ。</p> <p>田村： 本当に年の瀬でございます。</p> <p>廣川： 毎年言ってますが、早いですね。先日、今年の漢字が発表されましたね。 私達も「個人的な今年の漢字」を書きました。 田村さん、見せていただいていたいいですか？</p> <p>田村： 私は、こちらです！</p> <p>廣川： 「抜く」</p> <p>田村： コロナも抜けてほしい、もう抜けてきてるんじゃないか、 抜けかかってるんじゃないか、ということもあるんですが、 個人的に後厄が抜けます。</p> <p>廣川： そうだったんですね。</p> <p>田村： 厄っ払いこともなく、平穩無事に終わりそうな感じです。</p> <p>廣川： 良かったですね。 これと一緒に、この今の状況も一緒に抜けてくれたらいいですね。</p>

田村：

仕事は正直きつかったですけど、これはコロナやからしょうがないですし、来年はババババっと行きまっせと。吹田も盛り上げていきまっせという話でございます。

廣川：

素晴らしいです。

田村：

抜いていきまっせ、ほんま。

廣川：

私も書きました。

田村：

もちろんお願いします！廣川さんは何を書きましたか？

廣川：

じゃ～ん！「食べる」

田村：

「食（しょく）」、何で？

廣川：

お家時間が多かったじゃないですか。だから自炊することも多かったですし、自分で作ったご飯を食べることが多かったですね。よく食べました。

田村：

そうですか。どんなご飯を作られていたんですか？

廣川：

春菊とホウレン草のおひたしを大量に作って食べましたけど、今年トレーニングを始めたのもあって、蒸し鶏とか茹で鶏とかもよく食べてました。

田村：

良いですね、鶏。良いと思います。

廣川：

みなさんはどんな漢字を書かれたでしょうか。

田村：

皆さんの漢字も気になるところですね。

廣川：

ここからは特集に入っていきたいなと思いますが、
今回は吹田のこちら「水」についてご紹介します。

特集「リニューアル片山浄水所」

ナレーション

吹田市には2つの浄水所があります。
1つは淀川の水と地下水を汲み上げ浄水処理する泉浄水所。
そして、もう一つは地下水のみを汲み上げ浄水処理する片山浄水所です。
そんな片山浄水所は昭和28年に施設がオープン。
豊富な地下水を原水とし、およそ70年にわたり浄水処理を行ってきました。
しかし近年、老朽化で処理能力が低下してきたため、リニューアル工事が
行われていたのです。

そして、この12月にリニューアルが終了！
そこで今回は最新施設に生まれ変わった吹田が誇る浄水所、片山浄水所を
見学したいと思います。

祝リニューアル！！生まれ変わった「片山浄水所」見学記

梅山リポーター

皆さん、こんにちは！リポーターの梅山茜です。
こちらが新しくなった片山浄水所です。赤レンガ調の建物ですごくお洒落ですよ。

ナレーション

今回、片山浄水所を案内してくれるのは、水道部の濱塚（はまつか）主査です。

梅山リポーター

よろしくお願ひします。
こちらの浄水所では、どのようなお仕事をされているんですか？

濱塚さん

川や地下から水を吸い上げて綺麗にして各家庭へ送る施設です。
いわゆる水道水を作る場所です。

梅山リポーター

そうなんですね。

ナレーション

今回伺った片山浄水所。敷地面積は23,200㎡。テニスコートおよそ90面分の
敷地の中に10本の井戸、地下水を処理する水処理施設、そして綺麗になった水を
貯める3つの配水池があります。

梅山リポーター

そういえば前に片山浄水所の水が地下水からできていると聞いたんですが。

濱塚さん

そうなんですよ。

ここ片山浄水所の地下水は「大阪層群」といわれる地層から来ています。

ちなみに「大阪層群」の一番古い地層どれくらい前にできたと思いますか？

梅山リポーター

5,000年前くらいですか？

濱塚さん

いや、もっと。

梅山リポーター

もっと？

濱塚さん

おおよそ300万年前です。

梅山リポーター

300万年前！？想像がつかないんですけど。

ナレーション

実はこの浄水所の地下300メートルあたりに水脈があり、そこからポンプを使い、水を汲み上げているんです。

ということでやってきたのは片山浄水所の井戸。

濱塚さん

これは、片山浄水所の井戸です。

リポーター

こちらが井戸。なんか想像していた井戸と全然違うんですけど、10本あるうちのこれが1つということなんですか？

濱塚さん

そうなんです。イメージしておられる井戸より、ずっと深い場所から汲み上げているので、こういう形なんです。

梅山リポーター

ちなみに、1日でだいたいどれくらい汲みあげているんですか？

濱塚さん

最大で12,810m³です。

梅山リポーター

あんまり想像がつかないですけど。

濱塚さん

ペットボトルになおすと500mlのペットボトルで約2,560万本です。

梅山リポーター

2,560万本！言い換えてくださいましたけど、まだ想像がつかないですね。

濱塚さん

そうですね。

ナレーション

ちなみに小学校などにある平均的な25mプールに換算すると、およそ42杯分
なんだそうです。

梅山リポーター

その地下水というのは、そのまま飲めるんですか？

濱塚さん

いえ、飲めないんです。この片山の地下水は鉄分とマンガン分が多いので、
それを取り除く必要があります。

梅山リポーター

それをこちらで取り除かれているということなんですね。

濱塚さん

そうなんです。

ナレーション

続いてやってきたのは水の処理施設です。

梅山リポーター

うわー。何かすごいいろいろありますね。音もけっこう鳴ってますね。
これは何ですか？

濱塚さん

これは原水です。すなわち地下水です。

梅山リポーター

汲みあげたままの水が今ここにあるということですか？

濱塚さん

そうなんです。

梅山リポーター

すぐ近くまで水が溜まってますよね。

濱塚さん

足元気を付けてくださいね。

梅山リポーター

ありがとうございます。ここは何をされているところなんですか？

濱塚さん

ここは薬品を入れた後に混ぜる機械です。

梅山リポーター

これ勝手にひねってしまったら、大変なことになりますか？

濱塚さん

そうなんです。危険な薬品がありますので。

ナレーション

さらに奥に進むと…、

梅山リポーター

すごい。水の音が。

ナレーション

こちらは、ろ過槽。

濱塚さん

ここが今回リニューアルした水処理施設の心臓部となります。

梅山リポーター

心臓部！？

濱塚さん

ここで地下水をろ過しているんですけども、槽浸漬型の膜ろ過設備を導入しました。

ナレーション

今まで片山浄水所で行っていたのは砂を使ってろ過をする「砂ろ過方式」だったのですが、今回のリニューアルに伴い10000分の1ミリの穴が空いたセラミック膜を使う膜ろ過方式に切り替えたのです。

濱塚さん

ここに膜の装置が約1,344台入っています。
この中には、こういったストロー状の膜が77本入っています。
この池が3つあるので、77本×1,344台×3つの池で約31万本となります。

梅山リポーター

それくらいたくさん入っているんですね。

濱塚さん

そうなんです。このセラミック膜が約31万本入っています。

梅山リポーター

えー！

濱塚さん

この特徴としましては、コンパクトで運転管理が容易な施設となっています。
また地下水を余すことなく処理していますので、地下水の回収率は99.5%となっています。

梅山リポーター

汲みあげた地下水の99.5%はちゃんと使って。

濱塚さん

そうなんです。99.5%浄水にしております。

梅山リポーター

それはここだからこそできるものなんですか？

濱塚さん

そうなんです。

梅山リポーター

すばらしいですね。

ナレーション

この効率こそが、今回のリニューアルの目玉なんです。

そして、最後にやってきたのは水質分析室。出来上がった浄水はここで毎日検査され、その後、皆さんの家庭へ届けられるのです。

梅山リポーター

なんか蛇口がいっぱいありますね。

濱塚さん

ここでは、この水処理設備の水質を測定できるようになっております。
こちらが原水で、こちらが浄水となっています。

梅山リポーター

原水というのは、地下の…

濱塚さん

地下水です。

梅山リポーター

ちなみにこの原水は触ってもいいんですか？

濱塚さん

どうぞ。

梅山リポーター

いいんですか！すみません。失礼します。普通の触った感じも水ですし、
ちょっと匂いとか。あー。ぜんぜん何も匂いも感じずに。

濱塚さん

そうなんです。鉄分とマンガン分は多いですけど非常に良いお水なんです。

梅山リポーター

この水がずっと私たちを支えてくれているんですね。

濱塚さん

実はこの片山浄水所は市民の方も繋がりが深い浄水所として有名だったんです。

梅山リポーター

どうということですか？

濱塚さん

昭和39年に浄水所の水を使いまして、ニジマスを養殖したり、家族連れで楽しめるレジャー施設として、水族館や釣り堀、プールなども経営していたんです。

梅山リポーター

すごいですね！やっぱりこの水を使ってということなんでしょうけど、羨ましいです。良いですねー。

ナレーション

実は当時を知っている職員さんもいらっしゃいました。
こちらの長田（ながた）参事は小学生の頃、よく釣り堀に通ったそうです。

梅山リポーター

よろしく願います。当時は、こちらこういった施設だったんですか？

長田さん

僕自身は吹田で生まれまして、吹田育ちで家も近所だったんで、よくこの施設へ遊びに来ましたね。学校の遠足とか、友達や家族と釣り堀へよく行きました。

梅山リポーター

その時、遊んでおられた長田さんが今このリニューアル工事の担当になられるって、すごい不思議ですよ。

長田さん

そうなんです。

ナレーション

そして今回のリニューアルにあたり、当時の面影を残すあるものが浄水所の玄関先に飾られているということで早速案内をして頂きました。

梅山リポーター

ははは。すごい！

長田さん

そうです。これは当時のニジマス時代。
今回のリニューアルにあわせまして、この憩いの広場のなかに。

リポーター

感慨深いものがありますね。

長田さん

そうですね。

ナレーション

市民に親しまれる浄水所。ちょっと不思議な言葉ですが吹田市は今までそれを行ってきたのです。

長田さん

今も、これからもずっと市民の方、地域の方に愛され続けたいと思っている次第であります。

梅山リポーター

今日はすごく楽しかったです。ありがとうございました。

田村：

すごいですね。

廣川：

いろんな施設がありましたね。

田村：

いちいち数字がすごかったですね。面積もすごいし、ろ過の本数もすごいし、何よりも回収率99.5%。すごいですね。なんちゅう設備や、ほんまに。

廣川：

いろんな技術があそこにギュッと詰まっていて、それが私たちが普段使ってるお水になってるわけなんですね。

田村：

しかも地下水を汲み上げてるんですね。もともと地下水も良いということで。

廣川：

浄水所って私たちの生活に必ず密接してるけど、どこにあるのか知らないとかどんなことを実際やっているのか分からないっていう感じですけど、昔、浄水所がああやってニジマス釣りをしたりプールがあったり、水族館があったりとか、より身近に感じられたでしょうね。

田村：

良いですね。大きい滑り台とかね。今でも盛り上がりそうな設備でしたけど。

廣川：

また、片山浄水所は災害などで断水した時の給水ポイントにもなっているということなんですね。皆さんもしっかり覚えておいていただきたいんですが、あと片山浄水所の近くにはアサヒビールの吹田工場があるんですが、かつてはアサヒビールの水も吹田の湧き水を使っていたんですね。

田村：

なるほど。じゃあ、そこにアサヒビールの工場を作ったんや。

廣川：

そういうことみたいですよ。

〇

田村：

じゃあ、吹田の水って良いんですね。本当に吹田って水が良いって昔から言われてますから、だからクワイとかも美味しく出来るんでしょうね。

廣川：

これからもこの水を大切に、節水したりしながら大切に。

田村：

ニジマスを拝みに行きましょう。

廣川：

以上、特集でした。

田村裕のすい散歩 4 '30

田村：

田村裕のすい散歩。今回もキッチンカーを回ります。

田村：

さあ、今度はガパオライスさんの方に行ってみましょう。
こんにちは。

梶井さん：

こんにちは。

田村：

なんかすごいですね。アスリートフードマイスターが作るガパオライスですよ。
フードマイスター持ってるんですか？

梶井さん：

そうですね。去年、取得して。昔からスポーツやってきたので
それをキッチンカーで活かした仕事を出来ないかなと思って
こういうのを始めてみました。

田村：

スポーツは何をやられてたんですか？

梶井さん：

ずっとテニスしてました。

田村：

そうですね。最近、低糖質高タンパクっていうのはブームになってますから、
反応も良いんじゃないですか？

梶井さん：

そうですね。住宅街で出店すると、主婦の方が結構見てくれて、
「いいな～」って買ってくれる方が多いですね。

田村：

フードマイスターが、なぜガパオライスなんですか？

梶井さん：

ガパオライスは調べると栄養素がまとまっているというか、いろんな栄養が
集まって出来てる料理なので。

田村：

そうなんです。万能食といいますか、条件が良いんですね。

梶井さん：

バランスが整ってるので、それで選んだっていうのはあるんですけど。

田村：

へえ～、なるほど。普段なら設置できない場所じゃないですか。
こういうところで販売できるっていうのは、どうですか？

梶井さん：

結構、助かってますね。やっぱりコロナ禍で出店先が少なかった時期もあったので、その時に比べるといろんな選択肢が増えていってるので
そういう意味ではすごく有難いです。

田村：

実際、どうですか？反応としては。

梶井さん：

結構良いと思いますね。「こんなところでやってるんや～」とか、
「週どれくらいでやってるの？」とか「いつやってるの？」って
聞かれることが多いので、吹田の方は継続して出店しています。

田村：

なるほど。皆さん、こういうのがあるのも嬉しいし、
食べて味のファンになって、また来たいってことでしょうね。
ちなみに、どれが人気あるんですか？

梶井さん：

やっぱり海老のガパオライスが一番人気ですね。

田村：

オススメって書いてますもんね。

梶井さん：

6～7割くらいは海老ですね。

田村：

504カロリーなんですか！？

梶井さん：

そうですね。基本的にはご飯を糖質カットの炊飯器で炊いてて、普通のお米の30%の糖質を落としてるので。

田村：

同じコメを食うのでも、ここで食うた方が良いんや。

梶井さん：

そうです！ここで食べた方が良かったです！

田村：

2回言わんでええわ！急に強めに来たから、自信あったんやな。じゃあ、オススメのやつを1つ貰っていいですか？

梶井さん：

はい。ありがとうございます。

田村：

さあ、ガパオライスでございます。ではでは、最高に楽しい瞬間。オープン！じゃじゃ～ん！旨そう！すごいボリューム。海老がむちゃくちゃ乗ってますし、イカも結構乗ってますよ。ブロッコリーも良い感じや。じゃあ、いただきます。うん！うん！旨え！旨えぞ、これは！余計な味付けをしてない。最低限の調味料でやってるから素材の良さを活かしてるんだと思います。だからヘルシーなんやろうな、これ。ガパオライスって味が濃いイメージありますが、すごいさっぱりしてる。食べ馴染みがない人は抵抗があるかもしれないですけど、これめっちゃくちゃ旨いですよ。これ本当に美味しいのでオススメです。キッチンカーのスケジュールは、吹田市のホームページに載ってますから調べていただくなり、自分のお住まいのところから一番近いところを調べていただいて、その時にやってるものを是非ご堪能いただければと思います。以上、すい散歩でした。1年半ぶり。懐かしかったね。ありがとうございました。

TIME	映像	内容
19:50 (03'10")	トリキリ① トリキリ②	<p><u>＜廣川 ナレーション＞ ※事前収録</u></p> <p>「引き続き感染防止対策をお願いします。」</p> <p>年末年始は人が多く集まる時期です。特に飲食の場面では、感染リスクを減らすため、飲食時以外のマスク着用を徹底してください。</p> <p>寒い時期ですが、十分な換気を行ってください。</p> <p>ワクチン接種の有無に関わらず、3密を避ける、マスクの着用、こまめな手洗いなど、基本的な感染対策をお願いします。</p> <p>「新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせです。」</p> <p>「1回目・2回目接種について」</p> <p>病気療養中などやむを得ない事情により接種できなかった方や、新たに接種対象年齢の12歳に到達される方などで希望する方を対象に、集団接種を実施します。</p> <p>接種日時は、令和4年1月8日（土） 午後1時30分から午後6時30分まで。 2回目の接種は3週間後の同じ曜日、同じ時間となります。</p> <p>予約受付は12月27日（月）正午から開始します。 予約方法は市コールセンターへの電話のみとなっています。 市コールセンターの電話番号は、フリーダイヤル0120-210-750 受付時間は、午前9時から午後8時まで、 土曜・日曜・祝日も対応しています。 なお、年末年始◀12月29日（水）から令和4年1月3日（月）▶までの期間は、受け付けを休止します。 また、市コールセンターでは、ワクチン接種に関するご相談も受け付けています。</p> <p>「追加接種（3回目接種）について」</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、 2回目接種から原則8か月以上経過した18歳以上の方が対象です。</p> <p>令和3年3月から4月に2回目接種を受けた 吹田市民・主に医療従事者に、令和3年11月26日（金）に接種券等を発送しました。 令和3年5月1日以降に2回目接種をした吹田市民の方へは、2回目接種から概ね8か月以上経過した方から順次、接種券等を発送します。</p>

		<p>届いた接種券等は、予約及び接種の際に必要となりますので、大切にお持ちください。</p> <p>なお、国の方針などにより、追加接種の内容について、変更になる場合があります。</p> <p>最新の情報は、市のホームページやSNS等でお知らせします。</p>
--	--	---

TIME	内容
	<p>田村： 続いては市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>廣川： 今回は2つの話題をご紹介します。</p>
	<p><u>ナレーション</u>・(廣川)</p> <p>11月27日、千里ニュータウンプラザで「世界わいわいめぐり」が開催されました。</p> <p>これは吹田市国際交流協会SIFA（シーファ）が毎年開催している「多文化まつり」の一環として行われたものです。</p> <p>会場には4つのブースが設けられ、SIFAの日本語教室に通う外国人やボランティアが母国の文化を紹介。中国のブースでは中国の提灯づくりや書道、粘土で餃子づくり体験などがおこなわれていました。</p> <p>韓国のブースでは、韓国のハングル文字を使って名刺を作ったり、イタリアのブースでは映像を使った文化の紹介や、文化に関するクイズがおこなわれていました。</p> <p>そして、ポーランドのブースではクリスマスの紹介や塗り絵などが行われ、各ブースでは工夫を凝らして自国の文化を紹介していました。</p> <p>このほかネパール出身で佐賀県在住のラマ・カンチャさんが作ったトマトの販売コーナーや、アフリカ児童教育基金の会などによるフェアトレード商品の紹介コーナーが設けられたほか、外国にルーツを持つ子どものための放課後教室「ハロハロスクエア」の子どもたちが考えたクイズラリーがおこなわれるなど、来場者は楽しみながら外国の文化に触れていました。</p> <p>(インタビュー 男の子) あんまりヨーロッパのこと知らなかったの、そういう文化、いろんな人たちがいるってことを学べてよかったです。</p> <p>(インタビュー女性) 提灯作るのが楽しかったです。 イタリアのピザとパスタ、すごいたくさん種類があることがわかりました。 いろいろな国のことを知れて、(子どもと)一緒に楽しめました。</p>

TIME	内容
	<p>ナレーション・(廣川) 12月4日、パナソニックスタジアム吹田で「献血キャンペーン」がおこなわれました。</p> <p>これは12月の大阪府献血推進月間にあわせて、吹田市と吹田市献血推進協議会、大阪府赤十字血液センター、ガンバ大阪が協力して実施したもので、吹田市献血推進協議会のメンバーが、ガンバ大阪の試合を観戦に来た人たちに、献血を呼びかけるチラシを配布していました。</p> <p><インタビュー・大阪府赤十字血液センター 田中さん> このコロナ禍の影響を受けまして、例年ご協力いただいております企業献血、学校献血、または地域献血が軒並み中止となっております。 今年は若い方に献血をお願いしたいというところで、吹田市さまの方からガンバ大阪さまの方にお声がけをいただいて、そして協賛というところでこのキャンペーンに至っているというところでございます。</p> <p>ナレーション・(廣川) 吹田Gステージでは、後藤圭二市長が来場者に献血協力をお願いをしたほか、吹田市献血推進協議会会長の三浦さんと、大阪府献血推進ガールを務めるAKB48の永野芹佳（ながの せりか）さんが、当日献血車で献血をした人へのプレゼントを紹介しました。 大阪府赤十字血液センター副部長の田中さんが、大阪府の献血の現状を訴えるなどして、献血の重要性をPRしていました。</p> <p>また、後藤圭二市長と永野芹佳さんが試合開始前の「Love Football」に出演して、ガンバ大阪の試合を観戦に来た人たちに献血協力を呼びかけていました。</p> <p><三浦さんインタビュー> 献血推進協議会としましては、できるだけ、このコロナの時期ですけども、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。</p>

TIME	内容
	<p>田村： 素晴らしいですね。</p> <p>廣川： まずは、多文化まつりですけど</p> <p>田村： 面白そうでしたね。</p> <p>廣川： 昨年は新型コロナの影響で開催出来なかったんですけど、今年は無事開催出来たということなんですね。ただ、密を避けるために1か月にわたって長期で分散開催することになったそうです。</p> <p>田村： 多国籍になってきてますから、クラスメイトに居たりとか、職場で出会ったりとか、いろんなことがあるでしょうから、知っておくという事は良いでしょうね。</p> <p>廣川： そして献血キャンペーンの方ですけど、ご紹介した他にも、試合のハーフタイムに後藤市長、永野さん、すいたん、けんけつちゃん、もずやんがピッチを半周しながら献血のPRをしたそうですよ。</p> <p>田村： 僕も2カ月前くらいかな？（献血しに）行きましたけど、空き時間あったので。僕は心齋橋で行きましたけど。皆さんもご協力いただけたらと思います。よろしくお願いします。</p> <p>廣川： 以上、吹田のトピックスでした。ということで、エンディングです。とうとう、今年最後の放送となりました。</p> <p>田村： すごいですね。本当に1年1年経っていきますけど、あっという間ですね。</p> <p>廣川： 次回の放送は新春号ということですが、来年の新春号も凄いいたいですね。</p>

田村：

収録は終わっております、吹田の市内を走る鉄道5社の担当者が大集合、一堂に会して、各社の鉄道にまつわる話を繰り広げるといふ。
他でも5社集まるって無いんですって。これはすごいコラボ番組が出来上がってますので。後藤市長も新春号なので来てもらってるんですけど後藤市長もすごいご機嫌でした。すごい上機嫌でした。

廣川：

吹田は鉄道の街ですから。

田村：

鉄道ファンの方は喜ばれると思いますし。あれ、すごいですよ。
僕は鉄道あまり知らなかったですけど、5社の方が並んでそれぞれ良い所を喋ってるっていうのは圧巻でしたね。

廣川：

そうですか。

田村：

ぜひ新春号もお楽しみください。

田村：

それでは次回の放送も必ずチェックしてください。
みなさん、よいお年を！さようなら～！